

総務産業常任委員会

令和2年1月14日
委員会室

1 開 会

2 協議事項

(1) 一般質問からの課題提起（令和元年9月定例会分）

① 防犯灯設置事業について

② 鳥獣被害防止電気柵設置助成事業について

(2) 委員からの所管事務調査課題提起について

(3) 津万地区区長会との課題懇談会について

(4) その他

【政策】

防犯灯設置事業

【提案者】 寺北建樹

【背景】

防犯灯は地区からの要望で設置しているが、区長さんたちは町内の設置には積極的だが、地区と地区や町と町を結ぶ道路の防犯灯の設置要望までには目が向いていない。

市内には、約4,200基の道路照明施設があり、そのうち、市が管理している道路照明施設が約1,200基、その内訳は、道路照明灯300基と、防犯灯900基。これと、地元管理の防犯灯が約3,000基ある。

一方、市が管理している道路照明施設に係る電気料金は、年間1,000万円。

【提案内容】

地区と地区、町と町を結ぶ防犯灯というのは市で積極的に設置すべき。

【行政答弁】

防犯灯の本来の設置目的は、地域の犯罪防止という意味合いが強いことから、これまでどおり、地元要望に基づく設置を進めていきたいと考えておりますが、地域と地域や、村と村を結ぶ幹線道路などの設置については、人に優しい道路空間を整備するという観点から、自転車等による通学生の安全確保のため、地域とともに現状を調査させていただいた上で、協議を行い、計画的な設置に向けて検討していきたい（市長）

【政策】

鳥獣被害防止電気柵設置助成事業

【提案者】 村井公平

【背景】

鳥獣被害防止柵の設置が進み、希望されている集落では残り1町のみである。若手の大規模農業者の方々と意見交換をする中、鳥獣被害防止柵の設置により、対策はできたと思っていたが、実はそうではなく、対策として電気柵を設置している。その電気柵設置の助成を求める声がある。

【提案内容】

鳥獣被害防止電気柵設置の助成措置をすべき。

【行政答弁】

防護柵につきましては、ビジョン策定時の目標であります、設置距離総延長70キロメートルに達しておりますが、集落からの要望に沿いまして、引き続き整備をまいりたいと考えている。一方で、防護柵を設置している集落でも、獣害が後を絶たない現状がところどころございます。原因といたしましては、河川や道路など、柵が設置できていない箇所からの侵入や、柵のない集落からの侵入が考えられる。引き続き、西脇猟友会と連携をしながら鳥獣被害の防止に努めるとともに、野生動物のすみかとなる集落周辺における竹やぶなどの茂みの除去や、電気柵の設置についても検討していきたいと考えている。

ただし、財政的なこともあるので、集落単位とか、営農組合単位など、その対象につきまして、よく研究、検討をさせていただきたい（産業活力再生部長）

様式第1号（第2条関係）

2020年1月6日

西脇市議会議長 様

申請者 団体等名

津万地区区長会

代表者等氏名

臼井茂樹

所在地

西脇市大野 176

課題懇談会（申出・申込）書

項目	津万地区のまちづくり・その他
テーマ	津万地区の活性化・区長と市行政の関係
内容	別紙添付
出席者数	13名
出席者氏名	区長会会長 上戸田区長 臼井茂樹ほか、津万地区区長12名
会場	大野隣保館
開催希望日時	令和2年2月6日（木） 19:00～21:00
特記事項	・ 主管は 総務 ・ 文教の傍聴可能

■津万地区の活性化について

西脇北バイパス完成後の津万地区のにぎわいづくり

地域資源でもある西林寺・西脇公園・田空道の駅周辺の再整備と活性化

都市計画及び農業振興地域の農用地との関係

新庁舎・市民交流施設完成後のまちづくりのあり方

コミュニティバス再編と活かし方

■区長と市行政の関係について

増加傾向にある市行政からの依頼

区長の仕事はどこまでの範囲なのか

市への要望のあり方

■その他（総務産業常任委員会所管外・参考意見）

消防団の再編

市議会議員のあり方（普段何をしているのか見えない等）